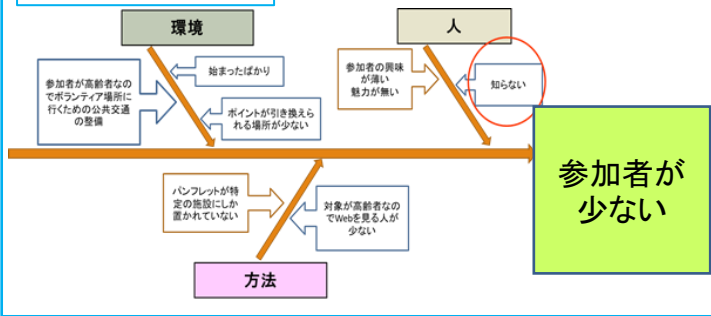


福祉ボランティアの参加率向上に向けて

テーマ選定理由

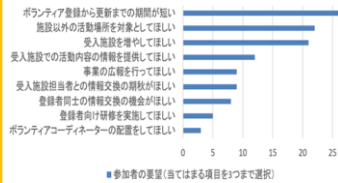
高齢化社会が進む社会で、福祉ボランティアの認知度が低いと感じたから。

現状調査



ニーズの確認

参加者の要望(当てはまる項目を3つまで選択)



- 参加率向上につながる点
- ・受け入れ施設の増加
 - ・活動内容の情報提供
 - ・登録者向け研修
 - ・ボランティアコーディネーターの配置
- 以上4つが利用できると判断

項目名	前提条件	情報源
対象者	65歳以上	金沢市役所
範囲	市内在住	金沢市社会福祉協議会

項目	測定方法	現状値	目標値
参加人数の増加	記録の確認	登録者数146人 活動者数78人 (3月)	1.3倍増加

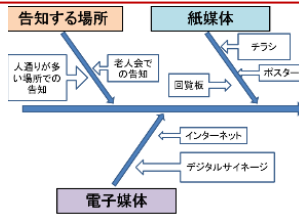
既存策と問題



- ・施設にパンフレット設置
→ 普段施設に行かない人は気づかない
- ・回覧板に広告を挟む
→ 読み飛ばしてしまう可能性がある



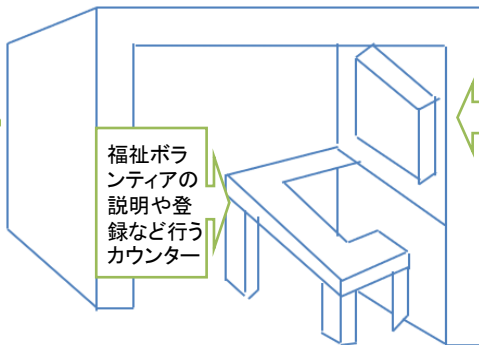
課題解決のためのアイデア創出



福祉ボランティアにおける地域住民の参加率向上

駅やスーパーでのブース設置

大きくポスターなど掲示



福祉ボランティアの説明や登録など行うカウンター

デジタルサイネージなどを用いた視覚、聴覚的広報



配布、掲示するポスター

長所

- ・多くの人の目に付くこと
- ・その場での参加など、敷居の高さを軽減できること

短所

- ・広報相手を限定できないこと
- ・費用がかかること

まとめ (アイデアによる理想の結果)

- ・ブース設置により、対象者への認知率向上及び参加
- ・対象者の家族、友人などへの認知率向上

2019年度 プロジェクトデザイン II
 クラス・チーム: EL302-3
 メンバー: 川北泉、高水想太、
 勝田康文、中岡駿斗、
 望月朝陽、堀俊介
 担当教員: 島谷 祐司 先生